

川湯温泉活性化に向けた取り組み

【株式会社 川湯ホテルプラザ（弟子屈町）】

会社概要

創業	1941年	従業員	56名
事業内容	宿泊業 お宿欣喜湯 お宿欣喜湯 別邸忍冬（2施設を運営）		
URL	https://www.kinkyu.com		



- 1941年に「欣喜荘」を開業 現ホテル名「お宿 欣喜湯」名前には「心ゆくまでお湯に遊んで欲しい」との願い
泉質は、pH約1.7の全国でも稀有な強酸性の硫黄泉
- 代表：榎本竜太郎氏（4代目）
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部 監事
川湯温泉旅館組合 組合長

コロナ等の影響

- 川湯温泉は1991年をピークに年々宿泊客が減少、全盛期20軒以上あったホテル・旅館は4軒のみに
- コロナ禍において、緊急事態宣言等により外出自粛要請やイベント等の中止による宿泊客の大幅減少
⇒臨時休館、雇用調整助成金を活用し従業員休業（雇用維持）
- 温泉街ホテルの休館により、地域全体が閑散とした状況
- 知床の観光船事故の影響による宿泊キャンセルも

新たな取り組み

休業中のホテルを取得・開業

- 2019年に経営破綻し休業中の「川湯第一ホテル 忍冬」の**土地建物を取得**
- 2021年4月に「お宿欣喜湯 別邸忍冬」として一部オープンし、翌年4月には**全館オープン**
施設は、露天風呂付貴賓室など高級感あふれる富裕層好み（新規雇用約20名）



営業形態の差別化

- 「欣喜湯」のターゲットをビジネス客として、**夕食を廃止**し、差別化と多様性に対応
- 「忍冬」のターゲットを富裕層として、**地場産食材を取り入れた食事メニュー**で地域の食の魅力も積極的に発信。2022年12月には、くつろぎの空間として、カフェラウンジを新設



川湯温泉地域クラウドファンディングの実施

- コロナによる厳しい状況を乗り越える**ため、クラウドファンディングを2回実施
実績：758人 1,166口 9,514千円
（内、欣喜湯 293人 447口 約3,000千円）
※返礼：地場産品を取り入れた和食会席宿泊プラン、10%お得な宿泊券

今後の展開

- カフェラウンジにおいて、アルコールを含む飲み物やお菓子を提供、より魅力的なくつろぎの空間づくり
- 町では、廃ホテルの撤去や温泉川を活用した再生計画を策定中であり、当館も温泉旅館組合として活性化に向け積極的に関わり、相乗効果を期待
※2026年星野リゾート開業予定

